

令和 7 年 2 月 5 日

小坂町防災会活動紹介

小坂町防災会
会長 佐木 学

小坂町防災会は平成 16 年 3 月 27 日に小坂町内会、小坂団地自治会など町内 7 団体で設立した。役員 120 名で町内約 700 世帯、1400 人で構成し、以来 11 月 3 日を「小坂町防災の日」と定め毎年訓練を重ね令和 6 年は 19 回目となりました。本会は「逃げるが勝ち、逃げたらメシ」をモットーに、各災害を想定して避難訓練と炊き出し訓練を中心に実施している。近年では避難行動要支援者の確実な避難を実現させるために、避難計画の検証と訓練において避難援助の実践をしている。なお、近年の防災会は高齢化や担い手不足などの課題が出ているが、当会では訓練時は元より実際の避難行動時も子どもから高齢者まで幅広くそれぞれが可能な役割を分担するよう工夫している。

＊避難所開設と災害対策本部の設置沼北小学校体育館（レベル3発令時）

令和 6 年 7 月 1 日～2日

令和 6 年 8 月 29 日～30 日

＊不審者情報による沼北小学校集団下校

令和 6 年 9 月 20 日

＊沼北小学校支援

令和 6 年 5 月 2 日 遠足警備

令和 6 年 5 月 28 日 避難訓練

令和 11 月 18 日 防災講座

令和 7 年 1 月 28 日 不審者避難訓練

＊訓練等参加

令和 6 年 10 月 27 日 高坂町防災会防災訓練参加

令和 6 年 12 月 11 日～12 日 全国防災リーダー研修会参加（東京）

＊能登半島地震水害ボランティア派遣

令和 6 年 10 日～12 日（輪島市）

予定

令和 7 年 3 月 14 日～16 日（輪島市）

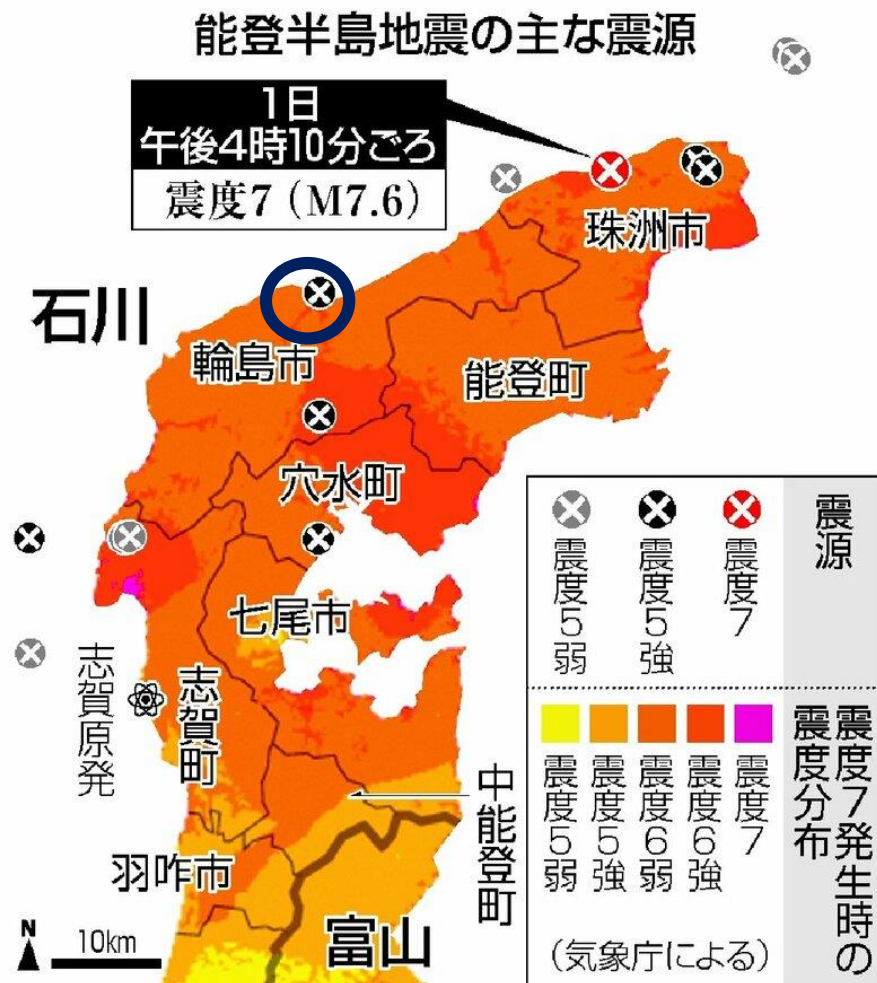
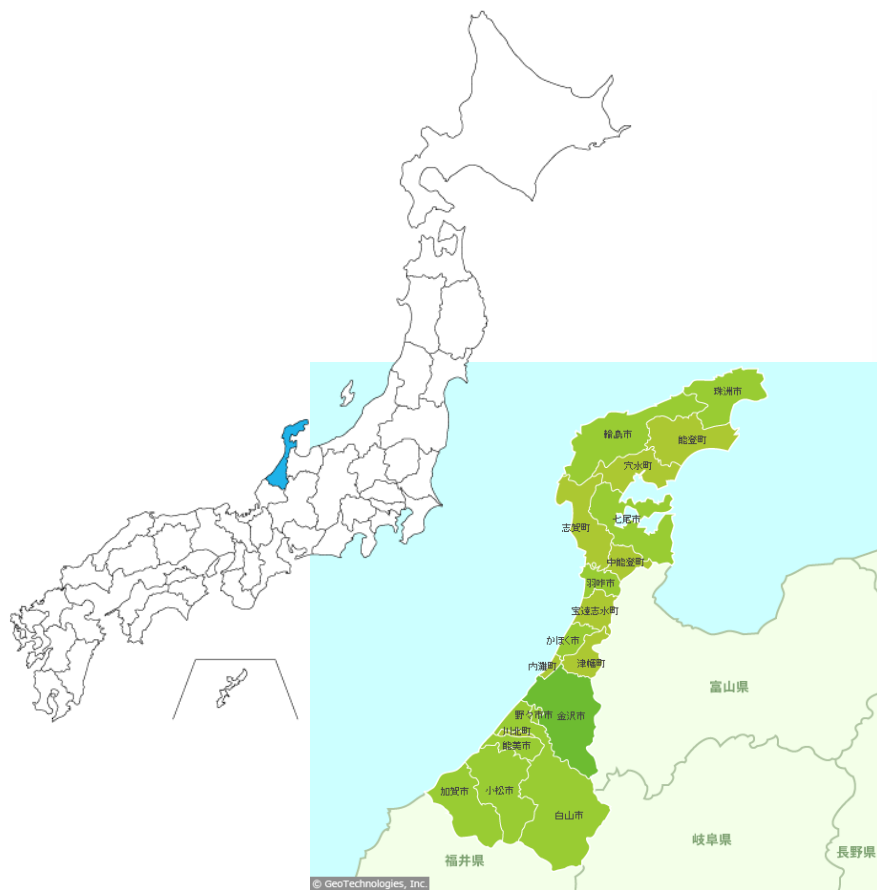


能登半島地震・奥能登豪雨 災害復旧ボランティア報告

至:石川県輪島市
2024年11月10日~12日

小坂町防災会

石川県輪島市



のと里山海道



元々のガードレールが上方に！
5m級の隆起と陥没が点在し
急激なアップダウンの激しい道路だった



道路が崩落し宙づりになったガードレール

輪島市街地



市街地にある信号や電信柱は全て傾いたまま



大きな屋敷だが1階が完全に押しつぶされて
ガレージの車も下敷きになったまま



地震発生直後から何度もTV中継された輪島朝市
火災現場は更地になっていたが
倒壊した家屋はまだそのまゝの状態

輪島市街地



根元から倒壊した7階建てのビル
解体は始まっているが殆ど地震当初のまま



本堂の瓦がズレ落ち、鐘楼が倒壊した寺院
境内の一角が災害ゴミの集積場になっている



海岸線



初めて見る人には普通の海岸に見えるが、海底が隆起し地形が変わり果てた海岸線
海辺に見えているのは全て海底だったところ

輪島市災害たすけあいセンター (輪島ボートパーク)



輪島市ボランティアセンターとは別に拠点を構える
災害たすけあいセンター



分かりにくいが
このズレ幅は5m以上あった



災害助け合いセンターは港の護岸付近にあるため
周囲には激しい隆起と陥没の惨状が見られる

ボランティア要望状況

地震被害よりも

大雨被害の支援要望が圧倒的に多い

(地震被害の時はボランティア要望は少なかった)

※現在自宅を離れて生活している人が多く仕事で不在のため、
平日にボランティアに入れる箇所が少ないことも
要望が少ないことに影響している。

11月11日(月)

たすけあいセンターに寄せられていた要望内容

- ・家の周りの側溝に溜まった土砂の撤去: 3件
- ・倒れたブロック塀の撤去
- ・火災跡の自宅から貴重品を搜索

ボランティア活動



母屋は地震の被害が殆どない状態



土蔵や納屋は屋根や柱が大きくズレている
解体を依頼しているとのこと



1か所目は山間にある民家
豪雨によって崖が崩れ水路を塞いでいる状況
水路に溜まった土砂の撤去を行った

2か所目は海沿いの会社兼民家
地震によって土地の水平が変わり
雨水が自宅の床下に入り込む状況
土嚢を作って雨水の進入を防ぐ堰を作る作業を行った

ボランティアメンバー

今回チームを組んだ10名
岩手・千葉・東京・石川・愛知・兵庫・広島と全国から参集
チームワークよく依頼された作業がスムーズに完了できた



小坂町防災会から赴いた4名

